

平成16年3月期 第3四半期の事業報告にあたって

拝啓 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第100期 第3四半期（平成15年10月1日から平成15年12月31日まで）および9カ月累計（平成15年4月1日から平成15年12月31日まで）の連結決算概要の発表を平成16年2月12日に行いましたのでご報告申し上げます。

昨年8月5日のコニカ株式会社とミノルタ株式会社の経営統合によるコニカミノルタホールディングス株式会社の誕生に続いて、当四半期は昨年10月1日付で両社の全事業を再編・統合し、6つの事業会社と2つの共通機能会社を発足させ新しい企業グループとしてスタートをきった最初の四半期となりました。

統合会社発足以来、当四半期も継続して統合効果とシナジー最大化に向けスピードをあげて経営基盤の整備を進める一方、グローバルレベルで日々激化する競争の中で成長事業分野へ経営資源を重点配分し、事業ポートフォリオ経営の推進によってグループ企業価値向上に努めました。当四半期の事業活動の詳細についてご報告申し上げますので次ページ以降をご覧くださいませ。

なお、当社の事業活動についてタイムリーにそしてより深く知っていただく一助として、半期ごとの事業報告に加え当第3四半期よりウェブサイトを通じて第1および第3四半期の事業の概況についてご報告をさせていただくことといたしました。

今後とも皆様のなご一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

敬具

平成16年3月

コニカミノルタホールディングス株式会社

代表執行役社長 岩居 文雄

## 連結財務ハイライト

▶ [平成16年（2004年）3月期 決算短信の変則集計について](#) □

（単位：百万円、未満切捨）

	当第3四半期	9ヶ月累計	(参考) 9ヶ月累計旧ミノルタ 中間期実績を含む
売上高	282,112	560,541	823,712
営業利益	18,288	42,617	58,300
経常利益	15,318	34,410	43,762
四半期純利益	10,558	18,938	25,733

## グラフ

- ▶ [売上高の推移](#) □
- ▶ [営業利益・経常利益・純利益の推移](#) □
- ▶ [セグメント別売上高構成](#) □

（単位：百万円、未満切捨）

	当第3四半期	(参考) 平成15年9月中間期	増減
総資産	1,009,244	994,460	14,784
株主資本	341,091	337,093	3,998
有利子負債	294,852	304,584	△9,732
株主資本比率	33.8%	33.9%	△0.1%

## グラフ

- ▶ [有利子負債残高の推移](#) □

（単位：百万円、未満切捨）

	当第3四半期	9ヶ月累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,388	20,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,541	△14,347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,867	△9,612
現金及び現金同等物の期末残高	87,652	87,652

## 営業概況

### 経営環境と営業概況

#### 当四半期の経営環境



##### 世界経済

イラク情勢の不透明さはあるものの、米国経済の力強い回復に牽引され、IT産業を中心として着実な回復が見られました。



##### 日本経済

デジタル家電が牽引役となり設備投資や輸出は増加基調にありますが、個人消費の好転材料はいまだはっきり見えず、また、当四半期後半のドル安傾向は景気の先行きに不透明感を与えています。

#### 当四半期の為替の状況

対米ドルは109円、対ユーロは129円となりました。

#### 経営成績

売上高 **2,821億円**

経営基盤の整備を迅速に進める一方、統合効果の早期具現化を目指してポートフォリオ経営を推し進め、グループの中核事業である情報機器事業や戦略事業であるオプト事業を中心に売上の拡大と収益の確保・向上に注力しました。

営業利益 **182億円**

経常利益 **153億円**

四半期純利益 **105億円**

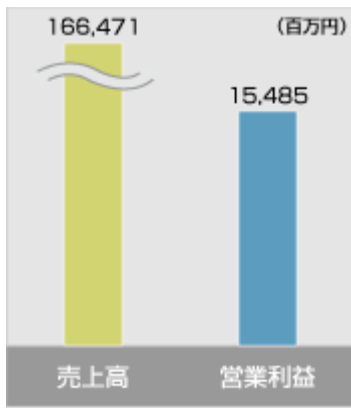
コスト・経費削減の効果は出ていますが、一部統合関連の費用発生が遅れていることも影響し、当初の計画を上回っております。

#### セグメント別営業概況

※ 棒グラフの売上高は外部顧客に対する売上高です。

情報機器事業：MFP（多機能複写機）、プリンタなど

MFP



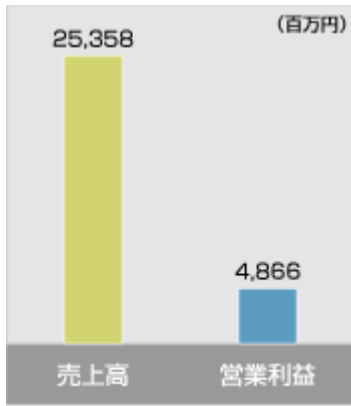
### 事業

高付加価値の中高速機やカラー機の拡販に努め販売シェアの維持・拡大に取り組みました。モノクロ、フルカラー機とも重合法トナー対応機のラインアップ拡充も一層加速しています。また、米国ヒューレット・パッカード社に向けて、モノクロ高速MFP2機種の出荷も10月から開始しました。

### プリンタ事業

米欧市場を中心に低速セグメントでのカラー機の拡販に注力しました。国内市場についても自社ブランドの新製品を投入し、本格的な取組みを開始しました。

## オプト事業：光学デバイス、電子材料など



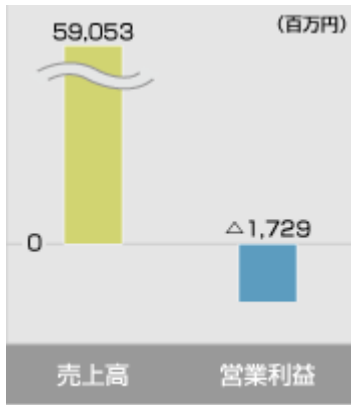
### 光学デバイス

主力のピックアップレンズは、引き続き好調に推移しました。また戦略事業であるデジタルカメラ用レンズユニットやカメラ付携帯電話用マイクロレンズも、最終製品市場の大幅な成長に伴って順調に売上を伸ばしています。

### 電子材料

デジタル家電市場の旺盛な成長を背景に、TACフィルムをはじめとした液晶材料分野での高付加価値製品の販売拡大にも努めました。

## フォトイメージング事業：写真感光材料、デジタルカメラ、インクジェットメディアなど

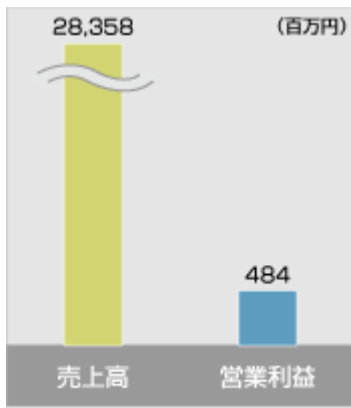


引続きデジタルカメラ市場の伸長にともない、フィルムおよびフィルムカメラ市場の縮小傾向は急速に進むなか、デジタル化・ネットワーク化に対応してデジタルプリント用印画紙や新規事業として育成しているインクジェットメディアの販売が堅調に推移しました。しかし、デジタルカメラにおいては台数・売上とも前年を大きく上回る実績をあげましたが価格競争の激化、フィルムカメラでは市場の加速的縮小のため収益面に大きく影響しました。また、カラーフィルムは欧米などでの需要減退により売上・利益とも伸び悩みました。コスト・経費削減に取り組みましたが残念ながら損失を吸収するまでには至りませんでした。

## メディカルアンドグラフィック事業：医療用・印刷用製品など

### 医療分野

フィルム、造影剤、機器とも順調に販売を伸ばしました。また、デジタル化に対応したドライフィルムへの販売シフトも着実に進んでいます。



### 印刷分野

アジアなど海外市場を中心に印刷用フィルムの拡販に注力しました。また、デジタル色校正システムなど機器販売の拡大にも国内外市場で積極的に取り組みました。

### 計測機器事業：色計測、三次元計測機器など



IT業界の設備投資の回復にともない、主力の色計測事業での販売は堅調に推移しました。三次元計測事業については、販売体制の整備、新商品の開発に引き続き注力しました。

連結財務諸表（要約）

貸借対照表

（単位：百万円、未満切捨）

勘定科目	当第3四半期 (H15.12.31現在)	(参考) 当中間期 (H15.9.30現在)
	金額	金額
現金及び預金	87,646	89,513
受取手形及び売掛金	235,663	224,356
たな卸資産	186,551	184,154
その他流動資産	65,266	55,868
流動資産	575,127	553,893
有形固定資産	220,709	226,399
無形固定資産	120,600	122,190
投資その他の資産	92,806	91,977
固定資産合計	434,117	440,567
資産合計	1,009,244	994,460
支払手形及び買掛金	156,038	139,853
短期借入金等	156,038	232,848
その他流動負債	156,038	119,082
流動負債	511,985	491,785
社債及び長期借入金	58,005	71,736
その他固定負債	96,941	92,583
固定負債	154,947	164,319
負債合計	666,932	656,104
少数株主持分	1,221	1,262
資本合計	341,091	337,093
負債・少数株主持分及び資本合計	1,009,244	994,460

---

▶ [平成16年（2004年）3月期 決算短信の変則集計について](#) 

連結財務諸表（要約）

損益計算書

（単位：百万円、未満切捨）

	当第3四半期 H15.10.1～H15.12.31		9ヶ月累計 H15.4.1～H15.12.31		（参考） 旧ミノルタ中間実績含む 9ヶ月累計 H15.4.1～H15.12.31	
	金額	百分比 （%）	金額	百分比 （%）	金額	百分比 （%）
売上高	282,112	100.0	560,541	100.0	823,712	100.0
売上原価	168,863	59.9	321,403	57.3	467,316	56.7
売上総利益	113,248	40.1	239,138	42.7	356,395	43.3
販売費及び一般管理費	94,960	33.6	196,520	35.1	298,094	36.2
営業利益	18,288	6.5	42,617	7.6	58,300	7.1
営業外損益	△2,970		△8,207		△14,538	
経常利益	15,318	5.4	34,410	6.1	43,762	5.3
特別損益	△749		△3,130		△4,304	
税金等調整前四半期純利益	14,568	5.2	31,280	5.6	39,457	4.8
税金費用	4,078		12,244		13,574	
少数株主損益	△68		98		150	
四半期純利益	10,558	3.7	18,938	3.4	25,733	3.1

▶ [平成16年（2004年）3月期 決算短信の変則集計について](#) □



## 連結財務諸表（要約）

### キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円、未満切捨）

	当第3四半期 H15.10.1～H15.12.31	9ヶ月累計 H15.4.1～H15.12.31
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	12,388	20,553
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,541	△14,347
I+II. フリー・キャッシュ・フロー	6,847	6,206
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,867	△9,612
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△98	61
V. 現金及び現金同等物の増減額	△2,118	△3,344
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	89,518	51,876
VII. 新規連結による現金及び現金同等物の増加額	252	667
VIII. 株式交換による現金及び現金同等物の増加額	—	38,453
IX. 現金及び現金同等物の期末残高	87,652	87,652

▶ [平成16年（2004年）3月期 決算短信の変則集計について](#) □

## トピックス

### 経営関係



コニカミノルタグループ内の事業を再編・統合し、**6事業会社と2共通機能会社**の新しい企業グループを形成



イメージング領域におけるライフスタイルやビジネススタイルの変化の調査・研究を狙いとした「イメージング文化研究所」を設立

### 事業関係



ヒューレットパッカード社との複写機事業における提携について



POD（プリント・オン・デマンド）市場での活用が期待される、高速デジタル複合機「**7272**」「**7255**」を発売



中国最大手のPCメーカー**联想集团（Legendグループ）**と、中国市場でのレーザープリンタ事業について販売提携を行い、**OEM供給**を開始



DVD、CD用の「非球面プラスチック対物レンズ」、生産累計**25億個**を突破



**Yahoo! JAPAN**が提供するオンライン・フォトアルバムサービス「**Yahoo!フォト**」のオンラインプリントサービスにおいて提携



世界最速起動「**ジェットスタート**」を搭載した、**4.0メガピクセル・光学3倍ズーム**のデジタルカメラ「**DiIMAGE G400**」を発売



東京・池袋の旧「**サンシャインプラネタリウム**」がコニカミノルタプラネタリウム（株）の直営で、**2004年3月**に復活決定

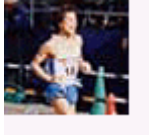
### その他



「コニカミノルタ」ブランドの企業広告を展開



デジタル複合機2機種が、ドイツの環境保護マーク「ブルーエンジェルマーク」の認証を、新設の複合機分野で世界で初めて取得



コニカミノルタ陸上競技部が、第48回全日本実業団対抗駅伝（ニューイヤー駅伝）で準優勝